

1 東京都中央卸売市場(平成27年1～12月計)の青果物取扱高について

平成27年は、4月の日照不足、5月の干ばつ、9月の関東・東北豪雨等天候不順で、入荷が不安定な年であった。青果物価格は高く推移し、本県の青果物取扱高(金額)は566億円で前年と比較すると63億円増、市場全体も5,663億円で前年より383億円増となった。

本県のシェアは10.0%で、前年の9.5%を上回り、順位は12年連続で全国1位となった。

本県の取扱高(金額)や市場シェアが前年を上回ったのは、1～10月まで青果物価格が高値で推移するなか、レタス類(4, 10月出荷)、はくさい(4, 5月出荷)、ピーマン等の取扱金額が前年を大幅に上回ったことによると考えられる。

- 入荷量
  - 市場全体の取扱数量は200万トンで前年を4万トン下回った(前年比98%、平年比98%)。
  - 茨城の取扱数量は22万トンで前年をやや下回った(前年比97%、平年比96%)。
  - 千葉の取扱数量は23万トンでほぼ前年並だった(前年比99%、平年比101%)。
- 金額
  - 市場全体の取扱金額は5,663億円で前年より383億円増だった(前年比107%、平年比110%)。  
内訳は野菜3,950億円(前年比108%)、果実1,713億円(前年比105%)。
  - 茨城の取扱金額は566億円で前年より63億円増だった(前年比113%、平年比110%)。  
取扱金額の内訳は野菜482億円(前年比116%)、果実84億円(前年比97%)。
  - 千葉の取扱金額は451億円で前年より25億円増だった(前年比106%、平年比106%)。  
取扱金額の内訳は野菜411億円(前年比107%)、果実40億円(前年比97%)。

単位:t, 百万円, %

区分		H27年	(シェア%)	前年値	(シェア%)	前年比	平年値	(シェア%)	平年比
数量 (t)	市場計	1,997,541		2,038,417		98.0	2,045,038		97.7
	茨城	221,197	11.1%	228,537	11.2%	96.8	230,491	11.3%	96.0
	千葉	233,932	11.7%	236,591	11.6%	98.9	231,663	11.3%	101.0
金額 (百万円)	市場計	566,311		528,029		107.3	515,740		109.8
	茨城	56,592	10.0%	50,255	9.5%	112.6	51,351	10.0%	110.2
	千葉	45,118	8.0%	42,667	8.1%	105.7	42,720	8.3%	105.6

※平年値は平成21,22,24,25,26年の5カ年平均です。

【参考】12月のみ

- 12月は気温が高く、生育が進んだ野菜は入荷が多かったが、果実はみかん類が少なく平年を下回ったため、市場全体の青果物入荷量は平年比99%だった。一方茨城は、はくさい等の入荷が少なく平年比94%。千葉は、にんじん、キャベツ等が多く平年比107%だった。
- 12月の市場全体の価格は、野菜は平年比96%(入荷量が多かった下旬に価格が下がった)、果実はみかんの価格高から平年比118%、青果計では平年比103%となった。  
(参考) 市場全体の野菜平均価格平年比: 上旬99%、中旬96%、下旬92%  
市場全体の果実平均価格平年比: 上旬119%、中旬118%、下旬119%
- 12月の青果計の金額は、市場全体で前年比98%、茨城94%、千葉92%、平年比では、市場全体で102%、茨城95%、千葉97%となった。

単位:t, 百万円, %

12月	市場計			茨城			千葉			
	野菜+果物	野菜	果物	野菜+果物	野菜	果物	野菜+果物	野菜	果物	
数量	H27	191,034	138,920	52,114	22,839	22,499	340	29,360	29,280	80
	H26	192,306	137,555	54,751	24,285	23,929	356	30,222	30,147	75
	(前年比)	(99)	(101)	(95)	(94)	(94)	(96)	(97)	(97)	(107)
	平年値※	192,640	135,927	56,712	24,281	23,942	339	27,415	27,365	50
	(平年比)	(99)	(102)	(92)	(94)	(94)	(100)	(107)	(107)	(160)
金額	H27	51,973	31,009	20,963	4,076	3,616	461	4,358	4,243	115
	H26	53,276	33,121	20,155	4,357	3,816	541	4,716	4,597	119
	(前年比)	(98)	(94)	(104)	(94)	(95)	(85)	(92)	(92)	(97)
	平年値※	50,841	31,692	19,149	4,279	3,814	465	4,509	4,438	71
	(平年比)	(102)	(98)	(109)	(95)	(95)	(99)	(97)	(96)	(162)

## 2 東京都中央卸売市場(平成27年12月単月)の茨城産青果物主要品目の取扱高

※平年値は平成21,22,24,25,26年の5ヵ年平均です。

野菜類の入荷量は約2万2千トン(前年比94%, 平年比94%), 価格は161円/kg(前年比101%, 平年比101%)。

果実類の入荷量は340トン(前年比96%, 平年比100%), 価格は1,353円/kg(前年比89%, 平年比96%)。

	品目	数量 t		価格 円/kg			金額 千円				
		前年比%	平年比%	前年比%	平年比%	平年比% (全国)	前年比%	平年比%			
野菜	れんこん	1,358	103	93	510	100	119	120	693,193	102	112
	はくさい	12,723	94	92	32	97	71	72	401,543	91	64
	みず菜	532	108	95	439	73	91	90	233,200	78	88
	ねぎ	1,054	85	98	215	100	97	105	226,996	85	95
	かんしょ	1,018	77	101	206	122	148	137	210,132	93	148
	ピーマン	456	106	84	421	109	108	115	191,805	116	91
	ほうれんそう	388	128	135	468	84	90	91	181,362	108	124
	<b>野菜類計</b>	<b>22,499</b>	<b>94</b>	<b>94</b>	<b>161</b>	<b>101</b>	<b>101</b>	<b>96</b>	<b>3,615,627</b>	<b>95</b>	<b>95</b>
果実	いちご類	297	98	103	1,490	87	94	97	422,666	81	94
	<b>果実類計</b>	<b>340</b>	<b>96</b>	<b>100</b>	<b>1,353</b>	<b>89</b>	<b>96</b>	<b>119</b>	<b>460,546</b>	<b>85</b>	<b>99</b>

- ・れんこん 茨城産の入荷量は前年比103%、市場全体では前年比102%だった。12月は茨城産が市場全体の入荷量の95%を占める。茨城産の価格は高かった前年並(前年比100%)で、平年比は119%。金額は前年比102%、平年比112%となった。
- ・はくさい 茨城産の入荷量は前年比94%、市場全体も94%の入荷量だった。入荷量は前年を下回ったが、暖冬で鍋需要が伸び悩むなか、大玉で、結球の進んだはくさいが出荷されていたため歩留りが良く、供給は依然として過剰な状態であった。前月に続き価格が低迷し、茨城産価格は前年比97%、平年比71%、金額は前年比91%、平年比64%だった。
- ・みず菜 茨城産の入荷量は前年比108%、市場全体では前年比110%の入荷量だった。12月は茨城産が市場全体の入荷量の87%を占める。気温高から生育が進み、下旬に入荷量が多く、価格が急落した。茨城産の価格は前年比73%、平年比91%、金額は前年比78%、平年比88%となった。
- ・ねぎ 茨城産の入荷量は多かった前年に比べると少なく前年比85%(平年比は98%)。千葉は前年比97%、埼玉90%で、市場全体では前年比93%の入荷量だった。茨城産の価格は前年比100%、平年比97%。金額は前年比85%、平年比95%となった。
- ・かんしょ 茨城産は入荷量は多かった前年に比べると少なく前年比77%(平年比は101%)。千葉は前年比94%で、市場全体では前年比89%の入荷量となった。価格は高く推移し、茨城産の価格は前年比122%、平年比148%。金額は前年比93%、平年比148%となった。
- ・ピーマン 茨城産の入荷量は前年比106%だった。曇雨天等の影響から九州、四国産が少なく(宮崎:前年比83%、高知85%、鹿児島76%)、市場全体では前年比89%の入荷量となった。茨城産の価格は前年比109%、平年比108%。金額は前年比116%、平年比91%となった。
- ・ほうれんそう 茨城産の入荷量は前年比128%。群馬は前年比80%、千葉は100%、埼玉は84%で、市場全体では94%の入荷量だった。気温高から生育が進み、下旬に入荷量が多く、価格が急落した。茨城産の価格は前年比84%、平年比90%、金額は前年比108%、平年比124%となった。
- ・いちご類 気温高で、果実が大きくなる前に色付き小玉傾向だったことから、茨城産の入荷量は前年比98%だった。栃木も同様に収穫量が少なかったが、出荷を都中央市場へ集中させていたため、入荷量は前年比108%だった。また、生育の前進化から福岡(111%)、佐賀(110%)、静岡(122%)の入荷量が多く、市場全体では前年比110%の入荷量となった。12月中・下旬に価格が下がり、茨城産の価格は前年比87%、平年比94%。金額は前年比81%、平年比では94%となった。